

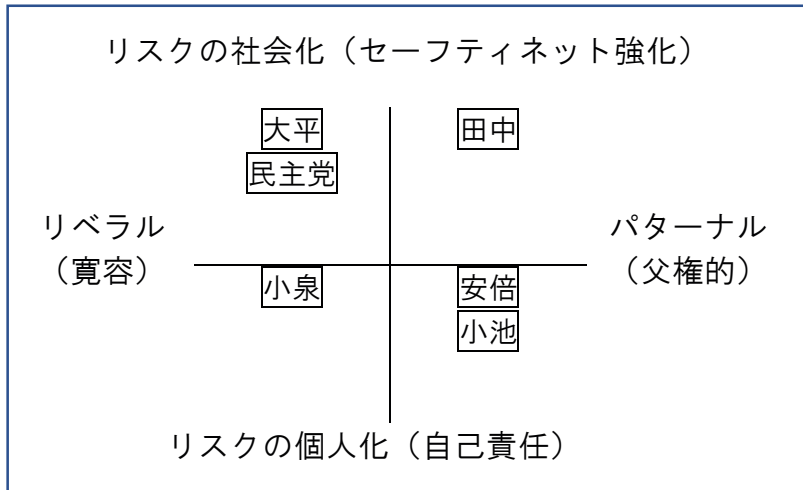
議員特別研修実施報告書

報告議員名	奥山 豊和	報告日	令和2年1月6日
調査研究・研修等 名 称	第14回全国市議会議長会研究フォーラム		
実 施 日	令和元年10月30日 ～ 令和元年10月31日		
会 場	高知市「高知ちばさんセンター」		
調査研究・研修等の 概 要	1. <u>基調講演</u> 「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」 中島 岳志 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 2. <u>パネルディスカッション</u> 「議会活性化のための船中八策」 ・坪井 ゆづる 朝日新聞論説委員（コーディネーター） ・高 部 正 男 市町村職員中央研修所学長 ・横 田 響 子 (株)コラボラボ代表取締役 ・古 川 康 造 高松丸亀町商店街振興組合理事長 ・田 鍋 剛 高知市議会議長 3. <u>課題討議</u> 「議会活性化のための船中八策」 ・坪井 ゆづる 朝日新聞論説委員（コーディネーター） ・滝 沢 一 成 新潟県上越市議会 議会改革推進会議座長 ・久坂 くにえ 神奈川県鎌倉市議会議長 ・小 林 雄 二 山口県周南市議会議長		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙参照		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

■ 現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性



- 「ヨコ」はいいが、「ナナメ」と組むと訳が分からなくなる。
- 租税負担率、GDP に占める国家歳出、公務員数（1000 人あたり）が高ければ、大きな政府。日本は世界でも指折りの小さな政府。→災害に弱い？
- 新自由主義の席卷により、政治の領域が小さくなっていく。
→小選挙区制、2 大政党が似てくる。
少数の声に耳を傾けなくなる…投票率が下がる、何も変わらない。
民主主義の危機、主権者なのに阻害されている。
- ラディカルデモクラシー
直接的な関わり方、自分の声が政治に届いている→熱しやすく冷めやすい。
- 熟議デモクラシー
タウンミーティング、グループワークで住民が政治に直接参加。
→公共的精神が養われていく。
- 討議デモクラシー
政治の対抗軸を示し、強い言葉で真っ向から挑んでいく。
→民衆の感情を起動させる。

【所感】

国内政治については肌で学んできたつもりでいたが、改めて客観的に理解を深めることができた。地方議会として民主主義をどのように捉えていくかが問われており、有権者の意識の根底にある「何も変わらない」という現状を何とかして打破していくためには、地域住民に真摯に誠実に向き合いながら声を吸い上げて具体的に行動していくことが求められているように感じた。

■ 議会活性化のための船中八策

① 行政監視機能

条例1本つくるのは大変な作業。議会として政策立案機能を重視しすぎることに疑問。まずはチェック機能の強化（決算審査の手法）。

閉会中を含めた常任委員会の所管事務調査を強化。指定管理案件は合同審査で。

② 次世代を見据えた議論

20年後の住民は幸せか？人口減を前提に2040年を描け。

③ データを踏まえた議論

抽象論・根性論ではなく、EBPMデータを基に政策をたてよ。

※EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案）とは、政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとする。

④ 多様性の確保

若者や女性の巻き込み。

規定がないために出産が病欠扱い。子どもの看護休暇や配偶者の出産休暇を。

「目指せないのではなく目指さない、議会に興味もやりがいも感じない」

→議会改革を進める原動力に。

⑤ 「地方自治法96条1項2項」の活用

重要案件については、「議決事項」により議会から仕掛けていく。

⑥ 労働法制見直し

兼業規定の緩和など議員側からもっとムーブメントを（休職して議員に）。

議員の位置づけが明確化されていない（法律で守られていない）のは時代のミスマッチ（産休等の位置づけ）。

⑦ 情報公開を徹底的に

議員の「賛否一覧」を公開。議会での議論の見える化（当局の説明資料）。

議会報告会が形骸化。テーマを決めて市民と話し合う→常任委員会活動の強化。

⑧ 合意形成

個人の意見ではなく徹底的に議員間討議を重ね、一つの方向性を出して市長に突き付ける。

【所感】

私たち自身が進めてきた議会改革の方向性を改めて確認しながら、どこも同じような課題に直面していることを共有することができた。

議員のなり手不足の課題について、まずは、環境整備を行いつつ議会活動の見える化を進めていくこと。その上で、意欲ある方が手を挙げやすい雰囲気をつくるために議会が組織として率先して地域に入っていく姿勢が大切だと感じた。

賛否一覧の羅列だけが「情報公開」ではない。執行部側の理解と協力を得ながら提出資料を改善し、議論の見える化を進めていくことも、開かれた議会実現のために大切な視点と言える。